

1. 市民対話事業について

(1) 目的

札幌市では、北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック冬季競技大会の招致活動を展開しており、昨年3月に実施した市民意向調査では、比較的高い割合で若者世代の支持を得る一方で、「わからない」と回答された方の割合が20代で高い傾向にありました。

札幌市としては、札幌の未来を担う若者世代が、北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック冬季競技大会開催を契機とする2030年のまちの姿について思いを馳せ、魅力あふれるアイデアを出していただくことが、持続可能なまちづくりにとって大変有意義なことだと考えています。このような背景から、若者世代を対象としたワークショップを企画し、その開催に協力して下さる団体を広く募集の上、実施する運びとなりました。

本業務は、ワークショップを通じて頂戴したアイデアの一部を、「若い世代からの100のアイデア」として、北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック冬季競技大会概要（案）更新版に盛り込み、また、市民のオリンピック・パラリンピックに対する意識と理解を高め、今後の招致機運醸成につなげていくことを目的としています。

(2) 事業概要

市民対話事業は、以下の団体、人数等により開催しました。

【第1回 ワークショップ】

実施団体名：札幌医科大学（Zoomによるオンライン形式）
開催日時： 令和4年8月25日（木） / 17時30分～19時00分
配信場所： 札幌市スポーツ局 ORE札幌ビル7階会議室C
参加者： 14名

【第2回 ワークショップ】

実施団体名：札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME（対面形式）
開催日時： 令和4年9月15日（木） / 16時30分～18時00分
実施場所： 札幌ファッションデザイン専門学校 DOREME
参加者： 9名

【第3回 ワークショップ】

実施団体名：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会（対面形式）

開催日時： 令和4年9月20日（火） / 18時00分～20時00分

実施場所： 札幌市役所12階大会議室4・5

参加者： 20名

【第4回 ワークショップ】

実施団体名：YOSAKOIソーラン祭り組織委員会（対面形式）

開催日時： 令和4年9月25日（日） / 10時00分～12時00分

実施場所： TKPガーデンシティPREMIUM札幌大通

参加者： 27名

【第5回 ワークショップ】

実施団体名：北星学園大学（対面形式）

開催日時： 令和4年9月30日（金） / 13時00分～14時30分

実施場所： 北星学園大学

参加者： 10名

【第6回 ワークショップ】

実施団体名：北海学園大学（対面形式）

開催日時： 令和4年10月3日（月） / 16時00分～17時30分

実施場所： 北海学園大学

参加者： 29名

【第7回 ワークショップ】

実施団体名：札幌大学（対面形式）

開催日時： 令和4年10月11日（火） / 14時40分～16時10分

実施場所： 札幌大学

参加者： 16名

【第8回 ワークショップ】

実施団体名：北海道大学（対面形式）

開催日時： 令和4年10月12日（水） / 18時30分～20時00分

実施場所： 北海道大学

参加者： 28名

【第9回 ワークショップ】

実施団体名：北海道スポーツ専門学校（対面形式）

開催日時： 令和4年10月13日（木） / 15時00分～16時30分

実施場所： 北海道スポーツ専門学校

参加者： 12名

【第10回 ワークショップ】

実施団体名：札幌市立大学（対面形式）

開催日時： 令和4年10月14日（金） / 10時40分～12時10分

実施場所： 札幌市立大学

参加者： 36名

【第11回 ワークショップ】

実施団体名：札幌大学（対面形式）

開催日時： 令和4年10月17日（月） / 9時00分～10時30分

実施場所： 札幌大学

参加者： 21名

【第12回 ワークショップ】

実施団体名：札幌大学（対面形式）

開催日時： 令和4年10月18日（火） / 9時00分～10時30分

実施場所： 札幌大学

参加者： 22名

【第13回 ワークショップ】

実施団体名：札幌市立大学（対面形式）

開催日時： 令和4年10月18日（火） / 17時45分～19時15分

実施場所： 札幌市立大学

参加者： 10名

【第14回 ワークショップ】

実施団体名：札幌国際大学（対面形式）

開催日時： 令和4年10月21日（金） / 10時40分～12時10分

実施場所： 札幌国際大学

参加者： 62名

【第15回 ワークショップ】

実施団体名：北陸銀行琴似支店（対面形式）

開催日時： 令和4年10月21日（金） / 16時00分～17時30分

実施場所： 北陸銀行琴似支店

参加者： 13名

【第16回 ワークショップ】

実施団体名：東海大学（対面形式）

開催日時： 令和4年10月24日（月） / 17時10分～18時40分

実施場所： 東海大学

参加者： 15名

【第17回 ワークショップ】

実施団体名：北海道情報専門学校（対面形式）

開催日時： 令和4年10月25日（火） / 15時15分～16時45分

実施場所： 北海道情報専門学校

参加者： 31名

【第18回 ワークショップ】

実施団体名：経専北海道観光専門学校（対面形式）

開催日時： 令和4年11月1日（火） / 13時30分～15時10分

実施場所： 経専北海道観光専門学校

参加者： 16名

◇当日のタイムテーブルについて

時間	内容	備考
00:00	開会(ワークショップ(WS)の主旨・本日の流れを説明)	統括ファシリテーター(5分)
00:05	グループ内交流(自己紹介+アイスブレイク) 『札幌といえば、札幌で好きなおところ、札幌で自慢したいところ』	学生、グループファシリテーター (5分)
00:10	大会概要案の説明	札幌市(15分)
00:25	質疑応答	学生、札幌市(5分)
00:30	導入説明: WSの進め方を説明・学生ファシリテーターの位置付け 時は2030年、札幌は「世界に誇れるまち」へと変貌を遂げている。 『私たち・札幌市が、 2030年に達成すべき(達成したい)まちづくりのアイデアを考えよう!』 個人ワーク: 各グループで指定されたキーワードに関して、 各自で事例・メリット・ポイントを考え、アイデアの記入を行う	学生 (個人:5分)
00:35	<グループワーク> 個人ワークで出てきた内容を基にグループ内でディスカッションを行う。	学生、グループファシリテーター (ワーク:30分) バッファ:7分
01:12	各グループの発表	学生(10分)
01:22	アンケート	統括ファシリテーター(5分)
01:27	まとめ・閉会	統括ファシリテーター(3分)

※実施団体によっては、内容や時間等を変更してWSを実施しています

◇ファシリテーターについて

今回のワークショップは中立的な立場で議論を進めるために「札幌市環境局主催 気候変動・SDGs アクション Labo」でのファシリテーション実績があり、フリーランスとして活動している「NEONE（ネオン）」代表の馬場 航平さんに、統括ファシリテーターを務めていただきました。また、グループワークは学生ファシリテーターに進行いただき、若い年齢層の方々にも市民対話事業の運営に参画いただきました。

今回学生ファシリテーターとして参画いただいた24名の道内大学生に対しては、統括ファシリテーターの馬場 航平さんが2週間の期間を設けてファシリテーター研修を実施し、本番に向けて準備を進めていきました。